

鳥取 D A R C 通信

目次

トップページ	1
フォトニュース	2
フォトニュース	3
フォトニュース	4
フォトニュース	5
活動報告	6
家族会お知らせ	7
献金報告・お知らせ	8

今年一年の思い出



今年一年お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。
◇鳥取・岡山ダルク仲間一同◇

【鳥取ダルク】

〒681-0001
鳥取県岩美郡岩美町牧谷645-4
TEL/FAX(兼)0857-72-1151
Eメールアドレス
tottori-
darc@jewel.ocn.ne.jp

贖罪寄付に関しましては
受け取りをさせていただいております。

Tottori DARC



NPO Recovery Point



鳥取ダルクのマスコットの小鉄です。
ありのままの小鉄に癒されます。

フ オ ト ニ ュ ー ス



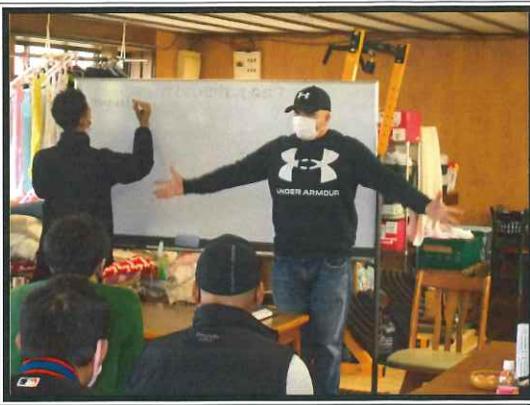
正月料理頂きました。美味しい!(^^)!



冬はスノーボードを楽しんでいます!



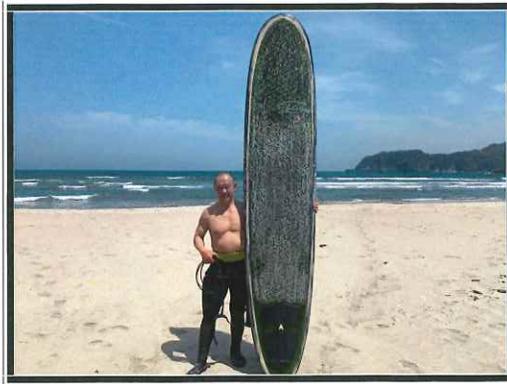
カトリック鳥取教会にて
仲間が洗礼を受けました



鳥取・岡山・群馬ダルク
合同TCプログラム



海に入る前にイメージトレーニング



波がある時は、サーフィンプログラム

フ オ ト ニ ュ ー ス



GWスピーカーズミーティング
テーマ「ゆだねる」でメッセージ



岩美町体育館でソフトバレー
皆がボールに集中！！



鳥取県立倉吉東高等学校 講演



公立鳥取環境大学 講演



アディクションを語る集い2021



小さき花園幼稚園
壁画ボランティア

フ オ ト ニ ュ ー ス



群馬ダルク研修



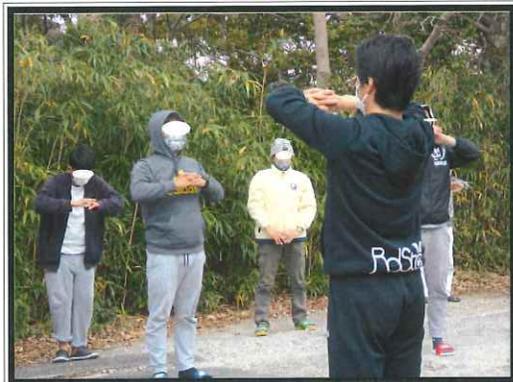
映画「プリズンサークル」上映会



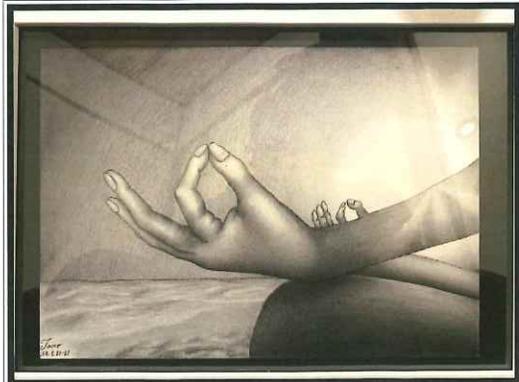
ファミリーサポートグループオンライン参加



カウンセリング神戸
感情を癒すロールプレイング



天気のいい日は外でヨガ！
呼吸を意識して自然を感じる



第20回日本ヨーガ療法学会研究総会
(令和4年5月20日、21日) 絵は、トモ作です。

活動写真



愛徳修道士会にて木を伐るボランティア①



愛徳修道士会にて木を伐るボランティア②



山陰海岸ジオパーク一斉清掃
鳥取砂丘清掃 馬の背を登る



カトリック鳥取教会にて
除草ボランティア



鳥取・岡山・群馬ダルクTCプログラム
関係機関等の方もご参加頂きました！



第12回アクション・フォーラム
in TOTTORI 2021

R3年10月～R3年11月 活動報告

- 10月
- 2日 「薬物依存症への支援対策と家族が必要とする支援」研修会（メッセージ）
 - 9日 岡山家族会ぴあ
 - 10日 山陰海岸ジオパーク一斉清掃（鳥取砂丘清掃）
 - 13日 ヨガプログラム
 - 16日 「依存症治療と動機付け面接法の活用」研修会
 - 〃 12ステップ勉強会in津山 “チーさな分かち合い”
 - 20日 愛徳修道士会伐採ボランティア
 - 21日 鳥取ダルクを見守る会
 - 25日 鳥取アディクション連絡会
 - 27日 ヨガプログラム
 - 30～ 群馬ダルク研修（メッセージ）
 - 31日 〃

- 11月
- 3日 アルコール健康障害と薬物依存症を考えるフォーラムin鳥取（メッセージ）
 - 8～ 大山登山プログラム
 - 9日 〃
 - 10日 ヨガプログラム
 - 13日 岡山家族会ぴあ
 - 〃 「Sat-G(鳥根ギャンブル障がい回復トレーニングプログラム)」研修会
 - 17日 ヨガプログラム
 - 18日 鳥取ダルクを見守る会
 - 20日 カトリック鳥取教会除草ボランティア
 - 〃 12ステップ勉強会in津山 “チーさな分かち合い”
 - 22～ 鳥取・岡山・群馬ダルク合同TCプログラム
 - 24日 〃
 - 27日 第12回アディクションフォーラムin鳥取 2021
 - 29日 DARAZ FM (OH!HA!ダラ出演)
 - 30日 鳥取刑務所薬物依存離脱指導（メッセージ）
 - 〃 ファミリーサポートグループオンライン

岡山家族会ぴあのお知らせ

アルコール、シンナー、危険ドラッグ、覚せい剤、大麻、処方薬など、
薬物依存症の家族を抱えて悩んでいませんか？

ここはたくさんの仲間がいます。

1人で抱え込まないで、苦しみも喜びも分かち合いませんか？

秘密は固く守ります。薬物依存症は病気です。

共に学び、知識を得る事により、
問題の解決が出来る事を私達は信じています。



家族会開催場所：

〒700-0807

岡山市北区南方2丁目13-1 (旧国立岡山病院跡)

岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 (きらめきプラザ)

家族会開催予定日一覧

令和4年 1月 8日 (土) AM10:00~PM3:00

講師:鳥取・岡山ダルク

代表 千坂 雅浩様

千坂 智子様

令和4年 2月12日 (土) AM10:00~PM3:00

講師:茨城ダルク今日一日ハウス

代表 岩井 喜代仁様

令和4年 3月12日 (土) AM10:00~PM3:00

講師:鳥取・岡山ダルク

代表 千坂 雅浩様

千坂 智子様

相談連絡先

●0857-72-1151 鳥取ダルク(代表番号 AM10:00~PM5:00)

●090-7138-5225 松浦 (家族会代表番号 AM9:00~PM9:00)

薬物問題を抱える家族を私達は応援します

岡山家族会ぴあ

代表 松浦博彰・スタッフ一同

ご献金の御礼

岡山家族会びあ様 荻原 京子様 山口 弘美様 甲田 幸義様 吉村 節子様 北川 信一様
岡本 順子様 山田 美津江様 石井 清美様 竹中 友張様 中村 証二様
安陪内科医院 安陪 隆明様 中原孝弘・さつき様 那須トラピスト修道院様
レデンプトリスチン修道院様 阪本 まさ子様 則安 俊昭様 南条 久美子様
松田 悟様 浅雄 淳子様 福安 一幸様 大月 平次郎様 瀧 洋子様
和泉 浄史様 加藤 とみ子様 鳥取東更生保護女性会 柴岡 みどり様
鳥取東更生保護女性会 坂尻 恭子様 隠岐教会様

他 匿名6名様(献金受付順)
令和3年9月1日～令和3年10月29日

その他、たくさんの方々にご心温まるご献品を頂きました。

鳥取ダルク仲間一同、心より感謝申し上げます。

～献金の御礼の記載につきましては事務処理上、多少前後する事がございますが、
ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします～

【ご献品のお願い】

皆様のご家庭で不要な食材（特にお米、カップ麺、レトルト食品）
野菜、調味料、コーヒー、日用品（洗濯洗剤、石鹸、シャンプー、
リンス）、衣類等がありましたら献品を頂けたら大変助かります。

* 発送作業の簡略化の為、大変恐縮ながら郵便振替用紙を全員の方に同封させていただいております。どうぞご理解ください。

* 原則として、郵便局で受け取る振込金受領表の写しを持って領収書に代えさせていただきます。特に必要のある方、及び『匿名希望』の方は、その旨を通信欄に、その都度お書きくださるようお願い致します。

★鳥取ダルクを見守る会のお知らせ★

『鳥取ダルクを見守る会』では、様々な立場の方に薬物問題に対する考えをお聞きし、当事者メッセージや依存症勉強会、各イベントの企画をしています。鳥取ダルクの活動を知って頂き、依存症を少しでも理解して頂けたら幸いです。参加費は無料です。

(会場が変更になる場合がございますので、お問い合わせ頂くか、ブログにてご確認ください。)

- 日時：毎月第3木曜日 PM7：00～
- 場所：さわやか会館3階
鳥取県鳥取市富安2丁目104-2

- お問い合わせ：0857-72-1151（鳥取ダルク）
- ブログ：「鳥取ダルクを見守る会」で検索可

編集・発行者 鳥取ダルク

〒681-0001

鳥取県岩美郡岩美町牧谷645-4

郵便振替払込口座

口座名 鳥取ダルクを支援する会

口座番号 00150-7-592983

平成12年9月20日 第三種郵便物認可(毎月25日発行)

発行所〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾739-1 岡山障害者団体定期刊行物協会(定価100円会費に含まれます)

2022年1月20日発行 OSK増刊通巻1027号

依存症回復 確かな歩み

薬物やアルコールといった

依存症からの回復を目指す中
国地方初の通所施設「ダルマ塾」(鳥取市)が、開設から3カ月を迎えた。現在は鳥取ダルク(石見町牧谷)の入所者のうち、回復へのレベルが一定程度達した人が通所。のどかな自然に囲まれたダルクから、人や車が頻繁に行き交う地へ。ダルマ塾の関係者は「街の空気に触れ、確実に回復のプログラムをこなしていくことが社会復帰には不可欠。その足掛かりとしてほしい」と期待する。
(竹久祐樹)

午前9時すぎ、大きな炊飯器や飲み物の入った容器を手にした男性たちがダルマ塾へ入っていく。「依存症のある人は、空腹になると薬物を使いたくなってしまう。ダルクと同じように、昼食として必要な分以上に用意しているんです」とスタッフの一人が教えてくれた。手分けをしながら室内の掃除を済ませると、自身の近況などを打ち明けるミーティングに移る。

通所施設は、鳥取ダルクを手掛けるNPO法人・リカバリー

通所施設の「ダルマ塾」鳥取 開設3カ月



ダルマ塾でミーティングを行うダルクの入所者。街の空気と触れながら社会復帰の道を探っている=11日、鳥取市内

社会と接し、向き合う場

ポイントが8月2日に開設。就ムをこなす点は、ダルクでの日職など社会的自立を促すため、常と変わらないが、施設長で鳥比較的人通りの多い場所に整備 取ダルク代表の干坂雅浩さんはしている。ダルクで過ごす約20「ここで過ごす時間に意味があるののうち、入所したばかりの人る」と説明する。

らを除く17人が平日に通所。個「(コンビニや飲食店などが々の回復段階に応じてプログラ多々あり)彼らが薬物などを使

っていたかつての環境に似た部分もある。ざわざわとした気持ちと向き合いながら、再発を抑制していかなければならない」と干坂さん。「ゆっくりと街へ近づき、ダルクを卒業した後は自助グループを活用しながら動いてもらうのが理想の姿」と言う。

ダルクに入所していない人たちにも門戸を広げようと、依存症患者を診察する病院へ声掛けしたり、自治体の担当者にも

ルマ塾の案内を始めた。霧困気を知ってもらうため、体験入所も受け付け。年明けからは個々の回復段階に応じて、ダルマ塾からアルバイトや買い物に出掛ける取り組みも始めるといふ。

薬物依存症の30代男性は「塾の近所で声を掛けられることもあって、社会と接しているんだと実感する。やがては仕事にも行って気持ちをならししていきたい」と話す。

干坂さんは「依存症に対する社会的認知度は緩やかながら高まっている」とした上で、「これからは地域の中でどう共生していくかが課題。彼らの社会復帰を後押ししながら、人となりを見てももらう機会もつくりたい」と力を込める。

障 害 福 祉 事 業 所

リカバリーワークダルマ塾



スピーチミーティング
希望のメッセージ



鳥取更生保護女性会の方がダルマ塾見学に
来訪され、献品を頂きました。感謝！



来未完（くるみかん）食堂より
お弁当を配達して頂きました。



「このお弁当美味しいよね(^.^)」
「そうだね。美味しいね(^.^)」



大山登山プログラム①



大山登山プログラム②